

## 第 2 回 新総合体育館基本構想検討協議会

既存施設における機能集約化の評価指標について

2025.3.21

府中市 文化スポーツ部 スポーツタウン推進課

---

# 既存施設における機能集約化の検討にあたって

- 新総合体育館の諸室機能については、郷土の森総合体育館と生涯学習センターの既存諸室機能について、機能集約化を図った計画にする必要があります。

## 第2次府中市スポーツ推進計画

### 「スポーツタウン府中の発展」の実現に向けて、更なるスポーツ施策の推進に取り組む

- スポーツ団体の指導者などの育成機能の強化
- ライフステージに応じたスポーツ活動の促進、障害者スポーツ活動の普及
- スポーツを「する」機能の充実
- 地域交流機能、学校との連携・協働機能の充実
- 情報発信・プロモーション機能の強化
- スポーツを「みる」機能の充実
- 郷土の森エリア、寿町エリア、小柳町エリアのスポーツ拠点の充実
- 既存のスポーツ施設の地域特性などを考慮した整備・活用

一人でも多くの市民にスポーツの機会を提供したい  
容易に行政サービスの水準を下げることはできない

市民ニーズの変化への対応などの多様化する課題やニーズを踏まえ、施設の配置や機能等の適正化を図る必要がある。

## 府中市文化・スポーツ施設配置等適正化計画

### 老朽化の進行

老朽化対策に一定の費用が必要となる建築後30年以上の建物が、全施設の約7割（令和3年度時点）を占めており、施設の安全性を確保するためには、これまで以上に点検や改修など、維持管理にきめ細かな対応が必要となるとともに、計画的な保全の取組が重要

### 健全財政の維持

長期的には、人口減少や少子高齢化に伴う歳入の減少や扶助費などの義務的経費の更なる増加が見込まれる

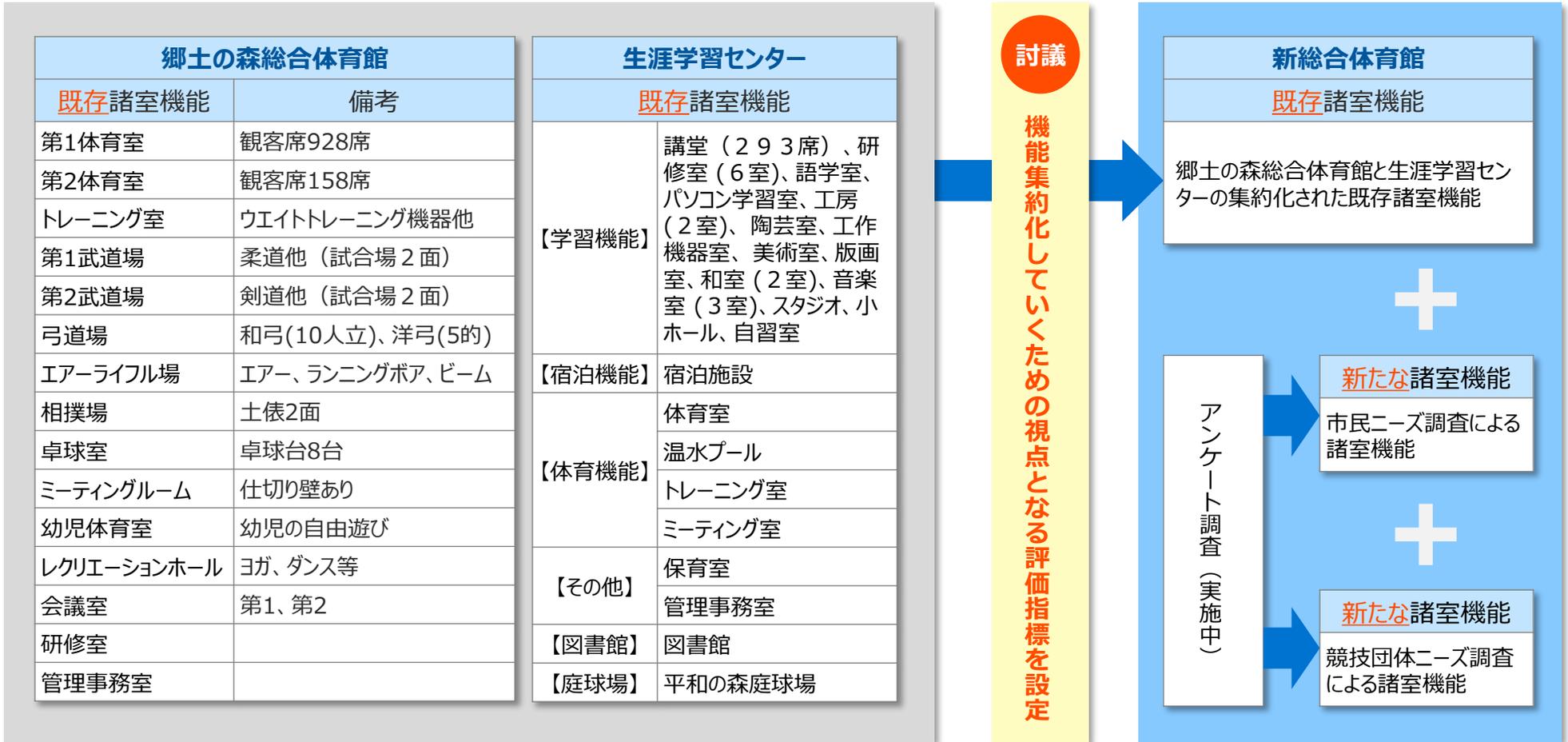
### 多様化する市民ニーズへの対応

施設の更新費用の増加が課題となる現状においては、新たな施設を整備するのではなく、既存の施設を柔軟に見直しながら対応していく取組が必要

人口減少による歳入の減少や、少子高齢化による扶助費の増加などの厳しい財政見通しを踏まえると、現状のまま施設を維持・更新することが難しい

# 討議いただくポイント

- 施設の配置や機能等の適正化を図ることを目的とした関連計画である「府中市文化・スポーツ施設配置等適正化計画」において、総合体育館の移転する際の機能統合等について方向性が示されています。
- 関連計画を踏まえ、郷土の森総合体育館と生涯学習センターの既存諸室機能について、機能集約化していくための視点となる評価指標を設定する必要があります。



# 関連計画の記述の整理

- 関連計画「府中市文化・スポーツ施設配置等適正化計画／令和6年10月」において、機能集約の検討対象となっている主な施設は以下のとおりです。

【図表3 対象施設】

施設分類		施設名称	施設数
市民文化系施設※	市民会館	市民会館	1施設
	芸術劇場	府中の森芸術劇場、府中の森芸術劇場分館	2施設
社会教育系施設	図書館	中央図書館、白糸台図書館、西府図書館、武蔵台図書館、新町図書館、住吉図書館、是政図書館、紅葉丘図書館、押立図書館、四谷図書館、片町図書館、宮町図書館、生涯学習センター図書館	13施設
	美術館	美術館	1施設
	博物館	郷土の森博物館（園内施設を含む。）	1施設
	ふるさと府中歴史館	ふるさと府中歴史館	1施設
	生涯学習センター	生涯学習センター	1施設
	スポーツ施設	総合体育館	総合体育館（郷土の森総合体育館）
	地域体育館	本宿体育館、四谷体育館、押立体育館、栄町体育館、白糸台体育館	5施設
	陸上競技場	市民陸上競技場	1施設
	野球場	市民球場、市民第一野球場（郷土の森第一野球場）、市民第二野球場（郷土の森第二野球場）、武蔵台少年野球場	4施設
	プール	市民総合プール（郷土の森総合プール）、市民プール、西府プール、美好水遊び広場	4施設
	庭球場	市民庭球場（郷土の森庭球場）、寿町庭球場、武蔵台庭球場、小柳庭球場、押立庭球場、四谷庭球場、栄町庭球場、住吉庭球場、若松庭球場、西府庭球場、日新第二庭球場、紅葉丘庭球場、紅葉丘第二庭球場、平和の森庭球場	14施設
	サッカー場	市民サッカー場（郷土の森サッカー場）、府中朝日フットボールパーク	2施設
	運動広場	小相町運動広場、武蔵台公園運動広場	2施設
	ゲートボール場	白糸台北公園ゲートボール場、新町ゲートボール場、西府ゲートボール場	3施設

※ 市民文化系施設は、市民活動・文化活動の拠点となる施設です。

- 主な対象となる3施設
- 機能集約化検討に関連する施設

## 郷土の森総合体育館

施設名称	しゅん工年度（経過年数）	敷地面積/延床面積※ [㎡]	構造/階数	敷地の所有形態/運営	主な諸室・機能
総合体育館（郷土の森総合体育館）	S46年度（53年） ※S63年度に第二体育室棟を増築	65,540/ 13,228	SRC造/ 地下2階、 地上3階	市/直営	・第1体育室（観客席928席） ・第2体育室（観客席158席） ・第1武道場、第2武道場 ・弓道場 ・エアースライフル場 ・相撲場 ・卓球室 ・レクリエーションホール ・幼児体育室 ・トレーニング室 ・会議室（3室） ・ミーティングルーム

## 生涯学習センター

施設名称	しゅん工年度（経過年数）	敷地面積/延床面積※ [㎡]	構造/階数	敷地の所有形態/運営	主な諸室・機能
生涯学習センター	H4年度（32年）	10,124/ 20,383	SRC造/ 地下1階、 地上4階	市/ 指定管理	・学習施設 講堂（293席）、研修室（6室）、語学室、パソコン学習室、工房（2室）、陶芸室、工作機器室、美術室、版画室、和室（2室）、音楽室（3室）、スタジオ、小ホール、自習室など ・体育施設 体育室、温水プール、トレーニング室、ミーティング室 ・宿泊施設

## 生涯学習センター 図書館

施設名称	しゅん工年度（経過年数）	敷地面積/延床面積※ [㎡]	構造/階数	敷地の所有形態/運営	主な諸室・機能
生涯学習センター図書館	H4年度（32年） （58年）	10,124/ 642※ 242※	RC造/ 1フロア 1フロア	市/直営	・図書室 ・閲覧席 ・開架書庫 ・閲覧席 ・開架書庫

# 関連計画の記述の整理【現状と課題①】

- 主な対象となる3施設の現状と課題についての記述を抜粋しました。
- 課題において、現状の機能の改善や機能統合の在り方検討の必要性について述べられています。

(地区図書館として記載)

## 郷土の森総合体育館

## 生涯学習センター

## 生涯学習センター 図書館

(10) 総合体育館 (郷土の森総合体育館)

【経過年数】 53年

0年 30年 60年

【主な課題】

配置 量 機能・空間 運営

現状

【配置】

- 現状は郷土の森公園内に位置しているが、府中基地跡地留保地への移転が決定している。

【量】

- 延床面積：13,228㎡
- 地下2階、地上3階建て

【機能・空間】

- 体育室、武道場、弓道場、エアライフル場、相撲場、卓球室、レクリエーションホール、幼児体育室、トレーニング室、会議室などがある。
- 武道場及び体育室などの稼働率は高い。
- 弓道場、卓球室、トレーニング室などの利用者数は増加傾向である。

【運営】

- 直営で運営している。

課題

- 移転後の総合体育館では「みる」スポーツの機能についても検討しており、施設規模の増加が見込まれている。
- エアライフル場、相撲場及び会議室の稼働率は低い。エアライフル場及び相撲場は競技人口が比較的少なく、諸室の利用用途が限られていることが影響している。
- ミーティングルーム及び会議室は、ダンス・ヨガなどで利用しやすくするなど、諸室の多機能化が求められている。
- 道具の貸出しやレッスンなどの新たなサービスの提供など、より気軽に利用できる運営上の工夫が求められている。
- ネーミングライツなどを活用した収入の確保が求められている。
- 移転後はPFIや指定管理者制度などの民間活力を導入することにより、施設の効果的かつ効率的な運営等の効果が期待できる。

(9) 生涯学習センター

【経過年数】 32年

0年 30年 60年

【主な課題】

配置 量 機能・空間 運営

現状

【配置】

- 府中基地跡地に位置している。
- 地区図書館(生涯学習センター図書館)が併設されている。

【量】

- 延床面積：20,383㎡
- 地下1階、地上4階建て

【機能・空間】

- 学習施設(講堂、研修室、パソコン学習室、語学室、和室、工房、音楽室、スタジオ、小ホール等)、体育施設(体育室、温水プール、トレーニング室)、宿泊施設等がある。
- 宿泊施設は、宿泊機能・サービスの今後の在り方に係る基本方針において、機能転換を図ることとしている。
- 音楽室、スタジオ、小ホール、体育室、温水プール、研修室の稼働率は高い。

【運営】

- 平成25年度から指定管理者制度を導入している。

課題

- 最寄り駅である東府中駅から距離があるため、交通利便性の向上や配置の見直しが求められている。
- 総合体育館の府中基地跡地留保地への移転に伴い、総合体育館と重複する機能(体育室、トレーニング室、会議室など)の在り方を検討する必要がある。
- 講堂、和室、創作系諸室の稼働率は低く、利用者の高齢化が影響していると考えられる。
- パソコン学習室や語学室は、オンライン講座などの民間機能の充実によりニーズが低くなっているほか、最新のデジタル環境への対応が求められている。
- 講堂、工房、小ホールなどは、定員の半分以上で利用されているケースが多い。

(5) 地区図書館

【経過年数】 10年～58年

0年 30年 60年

【主な課題】

配置 量 機能・空間 運営

現状

(写真は宮町図書館)

【配置】

- おおむね1キロメートル圏域ごとに位置している。

【量】

- 延床面積：3,070㎡(12か所の合計)
- 全ての地区図書館は、文化センターなどの施設に併設されている。
- 第3次推進プランのモデル事業において、地区図書館と学校図書館との機能連携及び複合化等を検討することとしている。

【機能・空間】

- 図書室、閲覧席、閉架書庫などがある。
- 貸出点数、貸出者数は減少傾向であるが、これは全国的な傾向である。
- 府中市文化センターのあり方に関する基本方針において、文化センター内の図書館は、施設内に読み聞かせ等の催しができるスペースや静かに読書ができるスペースを設けるなどの整備方針を示している。
- 宮町図書館は市政情報公開室と機能統合の上、新庁舎はなれに移転する。

【運営】

- 直営で運営している。

課題

- 図書の増加により、書架や書庫が不足する可能性がある。
- 静かな空間と会話できる空間を設けるなど、新たな図書館の在り方の検討が求められている。
- 閉館時間の延長などのサービスの充実が求められている。

## 関連計画の記述の整理【現状と課題②】

- 郷土の森総合体育館と生涯学習センターの稼働率データを抜粋しました。
- エアラيفル場や相撲場などの低稼働の施設について、課題として挙げられています。生涯学習センターの体育室や温水プールは比較的高稼働となっています。

郷土の森総合体育館

施設名称	諸室・区分 名称	平日				土日祝日				総計
		午前	午後1	午後2	夜間	午前	午後1	午後2	夜間	
郷土の森総合体育館	第1体育室	81.0%	56.6%	45.5%	46.6%	97.7%	97.6%	97.6%	96.6%	79.9%
	第2体育室	81.5%	83.7%	67.1%	78.7%	98.1%	96.8%	97.3%	97.2%	85.8%
	第1武道場	84.4%	84.1%	84.4%	83.0%	97.4%	97.9%	97.4%	94.5%	88.3%
	第2武道場	84.2%	83.1%	83.8%	82.1%	89.5%	95.1%	91.5%	98.2%	86.8%
	弓道場	52.0%	70.4%	8.6%	55.8%	98.3%	98.2%	92.6%	85.3%	74.0%
	エアラيفル場	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	12.3%	18.0%	7.1%	0.3%	2.4%
	相撲場	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	31.3%	35.7%	33.3%	27.3%	4.2%
	卓球場	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	3.4%	3.4%	3.4%	1.7%	1.1%
	レクリエーションホール	58.3%	67.2%	68.6%	36.9%	95.1%	91.6%	94.3%	97.4%	75.7%
	幼児体育室	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	1.4%	1.1%	0.8%	0.4%
	会議室	11.7%	10.5%	9.1%	1.4%	22.1%	29.2%	21.5%	8.0%	12.2%
ミーティングルーム	0.6%	0.5%	0.2%	3.5%	1.2%	1.8%	0.9%	0.4%	1.1%	

生涯学習センター

施設名称	諸室・区分 名称	平日			土日祝日			総計
		午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	
生涯学習センター	講堂	6.3%	36.1%	6.6%	13.7%	36.9%	3.5%	16.9%
	研修室	80.7%	88.8%	36.4%	60.7%	76.1%	34.0%	66.9%
	語学室	25.9%	44.4%	1.0%	24.6%	14.2%	2.0%	20.4%
	パソコン学習室	62.3%	49.7%	8.9%	44.4%	48.7%	1.8%	37.4%
	陶芸室	26.9%	23.6%	17.4%	33.2%	32.8%	21.8%	24.8%
	工房	44.9%	46.2%	11.1%	47.9%	57.3%	11.7%	35.7%
	工作機器室	0.9%	16.0%	0.4%	3.8%	4.3%	2.0%	5.0%
	美術室	54.0%	53.2%	8.5%	46.2%	46.4%	19.4%	38.1%
	版画室	39.6%	69.9%	5.3%	17.7%	60.1%	13.6%	35.6%
	和室	54.9%	54.6%	11.3%	24.5%	78.8%	5.5%	38.9%
	音楽室	82.5%	85.7%	75.7%	84.4%	92.8%	82.4%	83.1%
	スタジオ	69.9%	77.1%	69.6%	72.0%	81.4%	62.0%	72.1%
	小ホール	68.9%	66.3%	65.9%	81.3%	91.9%	81.0%	73.0%
	体育室	94.1%	95.5%	99.7%	98.7%	100.0%	98.2%	96.7%
温水プール	79.6%	80.3%	70.9%	84.2%	93.7%	78.1%	79.6%	
ミーティング室	6.3%	8.4%	3.3%	12.9%	14.2%	8.8%	8.0%	
保育室	36.9%	5.4%	1.6%	6.7%	9.3%	2.0%	11.7%	

# 関連計画の記述の整理【方向性①】

- 本計画の計画期間の前期（R6～R19）において、配置の変更や機能統合に取り組む施設を重点施策として、総合体育館及び生涯学習センターが挙げられています。
- 生涯学習センター図書館について、存置して総合体育館と複合化して整備する旨が明示されています。

## 3 重点施策

公共施設マネジメントの着実な推進を図るため、本計画の計画期間の前期に配置の変更や機能統合等に取り組む施設を重点施策として位置付けます。

配置に関する基本的な考え方にに基づき、おおむね施設の配置は維持しますが、次の施設については再編の対象として移転及び機能統合等に取り組みます。

【図表4.6 再編後の配置変更イメージ図】



### (1) 総合体育館

- 総合体育館は府中基地跡地留保地に移転することとしているため、当該地に隣接する生涯学習センターの体育機能を統合して整備します。
- 移転後の跡地については、引き続きスポーツ拠点としての機能を担うため、民間事業者による整備・運営も視野に入れて活用方法を検討します。また、郷土の森エリア内のスポーツ施設の管理機能は総合体育館が担っているため、移転後は市民総合プールの建て替え等の時期に合わせて、管理棟等の整備を検討します。

### (2) 生涯学習センター

- 体育機能は、総合体育館に統合します。
- 学習機能は、交通利便性の高い中心市街地に移転し、類似機能が多い中央文化センターの建て替えに合わせて、機能連携・統合します。
- 宿泊機能は、宿泊機能・サービスの今後の在り方に係る基本方針に基づき廃止します。
- 各機能の分散移転等に伴い、既存の建物は解体することとします。また、適正な施設配置の観点から、当該施設の跡地と、隣接する府中基地跡地留保地とを併せて、一体的に総合体育館を整備します。
- 併設している生涯学習センター図書館は、地区図書館の中では貸出者数や貸出点数等が多いことなどを踏まえ、当該地区内に存置し、総合体育館と複合化して整備します。

### (3) ふるさと府中歴史館

- 府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針などにおいて、事務室及び宮町図書館は新庁舎に移転し、国府資料展示室は新庁舎及び国史跡武蔵国府跡（国司館地区）に分散して移転することとしています。
- 公文書史料室及び公文書史料展示室については、中心市街地に位置する中央図書館に移転し、公文書館機能と図書館との一体的運用を行います。なお、資料庫については、民間倉庫の活用を図ります。
- 移転後は、当該地が国史跡に指定されていることに留意し、施設の処分を検討します。

# 関連計画の記述の整理【方向性②】

- 主な対象となる3施設の取り組みの方向性についての記述を抜粋しました。
- 機能統合や在り方検討の必要性の他、新たな機能として「みるスポーツ」「多目的グラウンド」の記述があります。

(地区図書館として記載)

## 郷土の森総合体育館

**10 総合体育館（郷土の森総合体育館）** 広域的施設

**【方向性】**  
 新たな市民ニーズへの対応のほか、老朽化対策や防災面などの機能強化を図るため、府中基地跡地留保地周辺エリアに移転し、生涯学習センターの体育機能を統合します。

**【重視するポイント】**

前期

後期

配置

量

機能・空間

運営

**【具体的な取組内容】**

観点	取組内容
配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>府中基地跡地留保地周辺エリアに移転し、生涯学習センターの体育機能を統合します。</li> <li>総合体育館は府中基地跡地留保地、平和の森公園及び生涯学習センター跡地にまたがるように整備します。</li> </ul>
量	<ul style="list-style-type: none"> <li>移転に向け、稼働率の低い相撲場やエアリアル場の規模等の見直しを検討するなど、規模の適正化を図ります。</li> <li>移転に向け、<u>新たな機能として、市内トップチームの試合を当該施設で観戦できるような観客席数などの規模を検討します。</u></li> <li>取組人数に見合う観覧者の滞留場所やイベントスペースの確保を図ります。</li> </ul>
機能・空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>相撲場及びエアリアル場は、稼働率が低い傾向があることから、多機能化等を検討し、施設の有効活用を図ります。</li> <li>移転に向け、<u>市内でも民間事業者で多く提供しているトレーニング室の在り方を検討します。</u></li> <li>総合的な市民スポーツの拠点となるよう多目的グラウンドを配置し、周辺部との一体的な整備や機能連携を検討します。</li> </ul>
運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>PFIや指定管理者制度などの民間活力の導入を検討します。</li> <li>移転に向け、施設を市内外からの利用を想定した広域的施設に位置付けたことから、ネーミングライツやクラウドファンディングなどを導入し、新たな収入の確保を検討します。</li> </ul>

**【取組スケジュール】**

年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	
取組内容	新総合体育館移転・新築に向けた取組										新築		供用開始		
	既存建物の解体及び跡地活用に向けた取組										解体		活用開始		
R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34	

## 生涯学習センター

**9 生涯学習センター** 拠点施設

**【方向性】**  
 学習機能は中央文化センター周辺エリアに移転し、機能連携及び統合するとともに、体育機能は総合体育館と統合し、既存建物は解体します。

**【重視するポイント】**

前期

後期

配置

量

機能・空間

運営

**【具体的な取組内容】**

観点	取組内容
配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習機能は交通利便性の高い中央文化センター周辺エリアに移転し、機能連携及び統合します。</li> <li>体育機能は府中基地跡地留保地周辺エリアに移転する総合体育館と統合します。</li> <li>宿泊機能は廃止します。</li> </ul>
量	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習機能は、機能統合の際に、文化センターや学校施設などの施設に分散を検討するとともに、各機能の役割などを整理し、規模の適正化を図ります。</li> </ul>
機能・空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>より長く生涯学習に関わるべき若い世代向けに、学びのコミュニティの形成を活性化するためのデジタルコミュニケーションの取り入れなど、最新のデジタル環境への対応などを検討します。</li> <li>体育機能は、機能統合の際に、市内でも民間事業者で多く提供している<u>トレーニング室や、隣接する調布市で東京都が提供している温水プールの状況を踏まえ、在り方を検討します。</u></li> </ul>
運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習機能及び体育機能は、機能統合の際に、最適な運営手法を検討します。</li> </ul>

**【取組スケジュール】**

年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	
取組内容	【体育機能】総合体育館との機能統合に向けた取組										新築		供用開始		
	【学習機能】中央文化センターとの機能連携・統合に向けた取組										第二庁舎への仮移転		新築		
	【既存建物】解体に向けた取組										解体				
R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34	

## 生涯学習センター 図書館

**5 地区図書館** 地域施設

【白糸台図書館、西府図書館、武蔵台図書館、新町図書館、住吉図書館、足政図書館、紅葉丘図書館、押立図書館、四谷図書館、片町図書館、宮町図書館、生涯学習センター図書館】

**【方向性】**  
 地区図書館の役割を整理し、地区図書館を併設している文化センター等の施設の建て替えの際に、機能及び規模の適正化を図ります。

**【重視するポイント】**

前期

後期

配置

量

機能・空間

運営

**【具体的な取組内容】**

観点	取組内容
配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状の配置を維持します。</li> </ul>
量	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区図書館が併設されている施設の建て替え時期を踏まえ、当該施設の役割を整理し、機能・空間の在り方と併せて、施設規模や附帯図書室などの在り方を検討します。</li> <li>第3次推進プランのモデル事業において、学校図書館との機能連携及び複合化等を検討します。</li> <li>書架や書庫の容量不足が見込まれる場合は、蔵書数を精査するとともに、館内を機能転換するほか、市内の遊休公共施設や民間倉庫の活用を検討します。</li> </ul>
機能・空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化センター内の地区図書館は、府中市文化センターのあり方に関する基本方針に基づき、機能・空間を検討します。</li> <li>宮町図書館は、市政情報公開室と機能統合の上、新庁舎はなれに移転します。</li> <li>生涯学習センター図書館は、総合体育館との複合化に向け、市民から求められている「豊かな空間・話すことができる空間」など、新たな機能・空間を検討します。</li> </ul>
運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区図書館が併設されている施設の建て替え時期を踏まえ、市民ニーズを踏まえたサービスの充実を図ります。</li> </ul>

**【取組スケジュール】**

年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19
取組内容	文化センターのあり方に関する基本方針に基づく施設改修・建て替え													
	【宮町図書館】移転に向けた取組										移転			
	【生涯学習センター図書館】建て替えに向けた取組										建て替え			
R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34
文化センターのあり方に関する基本方針に基づく施設改修・建て替え														

# 関連計画を踏まえた生涯学習センターとの機能重複

- 「府中市文化・スポーツ施設配置等適正化計画」において記述されている新総合体育館への機能集約や移転・廃止の考え方について、情報の整理を行いました。
- 生涯学習センターにおける**体育室、トレーニング室、ミーティング室、保育室、管理事務室**は、既存の郷土の森総合体育館の既存諸室機能と**機能統合が可能**であると考えられます。

郷土の森総合体育館		
既存諸室機能	備考	凡例
第1体育室	観客席928席	□※1
第2体育室	観客席158席	A-1
トレーニング室	ウエイトトレーニング機器他	A-2
第1武道場	柔道他（試合場2面）	
第2武道場	剣道他（試合場2面）	
弓道場	和弓(10人立)、洋弓(5的)	
エアライフル場	エア、ランニングボア、ビーム	
相撲場	土俵2面	
卓球室	卓球台8台	
ミーティングルーム	仕切り壁あり	A-3
幼児体育室	幼児の自由遊び	A-4
レクリエーションホール	ヨガ、ダンス等	
会議室	第1、第2	
研修室		
管理事務室		A-5
(新)多目的グラウンド	総合的な市民スポーツの拠点のため	□

生涯学習センター			
既存諸室機能		備考	凡例
【学習施設】	講堂（293席）、研修室（6室）、語学室、パソコン学習室、工房（2室）、陶芸室、工作機器室、美術室、版画室、和室（2室）、音楽室（3室）、スタジオ、小ホール、自習室	中央文化センター周辺エリアに移転	× (移転)
【宿泊施設】	宿泊施設		× (廃止)
【体育施設】	体育室		A-1
	温水プール		□
	トレーニング室		A-2
	ミーティング室		A-3
【その他】	保育室		A-4
	管理事務室		A-5
【図書館】	図書館	地区図書館	□
【庭球場】	平和の森庭球場		未定

凡例
A：新総合体育館において <b>機能重複</b> が想定されるペア
□：新総合体育館に <b>新たに加わる可能性のある機能</b>
×：移転または廃止
未定：方針未定

※1) 「みるスポーツ」機能を付加

# 機能集約化の評価指標の設定

- 郷土の森総合体育館と生涯学習センターの機能集約化を検討するに際し、集約化の視点となる評価指標を下表のとおり整理しました。
- 整理した評価指標（A～E）についてのご意見、新たな観点での評価指標の設定について、討議をお願いします。**

評価指標（案）		内容	調査方法・エビデンス
機能集約化 (既存諸室機能)	生涯学習センターとの機能重複	郷土の森総合体育館と重複する機能は、過大施設となることから、機能が重複している諸室は機能統合の対象とする。	上位計画・関連計画
	A.周辺施設との類似性	市内及び周辺施設において、類似する機能又はサービス提供を行っている場合は、機能の差別化をするための機能調整を行う又は廃止の対象とする。	上位計画・関連計画 市内の類似施設の分布調査
	B.半屋外対応可能性	半屋外に整備しても競技対応できる可能性がある機能は、機能集約化の対象とする。	競技団体へのアンケート調査
	C.マルチ対応可能性	運用上の工夫により簡易に必要な機能を設営できるものは、機能集約化の対象とする。	競技団体へのアンケート調査
	D.稼働率	郷土の森総合体育館において、現状の稼働率が低い機能は、機能集約化の対象とする。	上位計画・関連計画
	E.競技人口	競技人口が少なく、今後も増加する見込みが少ない競技種目が利用する機能は、機能集約化の対象とする。	競技団体へのアンケート調査
機能付帯化 (新たな諸室機能)	トレンド	防災機能の強化、倉庫スペースの充実化、新たな市民ニーズに対応した機能等	市民ニーズ調査
	みるスポーツ機能	観戦環境の充実化、安心安全な観戦環境の整備（トイレ数、動線確保等）	競技に関する関係規則、ガイドライン、類似事例・類似施設調査
	PFI事業との相性	図書館機能、管理事務室	庁内関係部署へのヒアリング

# 評価指標A | 周辺施設との類似性

- 「府中市文化・スポーツ施設配置等適正化計画」において記述されている周辺施設との機能調整の可能性について、情報の整理を行いました。
- 温水プール**については、隣接する調布市に東京都のプールがある他、**維持管理費の圧迫、施設計画への影響**が大きいことが懸念されます。

郷土の森総合体育館		
既存諸室機能	備考	周辺施設との機能調整
第1体育室	観客席928席	
第2体育室	観客席158席	
トレーニング室	ウエイトトレーニング機器他	→市内でも民間事業者で多く提供されている
第1武道場	柔道他（試合場2面）	
第2武道場	剣道他（試合場2面）	
弓道場	和弓(10人立)、洋弓(5的)	
エアライフル場	エア、ランニングボア、ビーム	
相撲場	土俵2面	
卓球室	卓球台8台	
ミーティングルーム	仕切り壁あり	
幼児体育室	幼児の自由遊び	
レクリエーションホール	ヨガ、ダンス等	
会議室	第1、第2	
研修室		
管理事務室		
(新)多目的グラウンド	総合的な市民スポーツの拠点のため	

生涯学習センター			
既存諸室機能		備考	周辺施設との機能調整
【体育施設】	体育室		
	温水プール		→隣接する調布市内で東京都が提供している
	トレーニング室		→市内でも民間事業者で多く提供されている
	ミーティング室		
【その他】	保育室		
	管理事務室		
【図書館】	図書館		
【庭球場】	平和の森庭球場		



調布市にある武蔵野の森総合スポーツプラザのプール（東京都施設）  
→府中駅から京王線4駅、車で10分程度

出所：施設HP

## 評価指標B | 半屋外対応可能性

- 半屋外施設としても機能が成立する諸室については、必ずしも完全な屋内諸室として整備する必要はなく、**施設規模を大幅に抑制**することができるものと考えます。

郷土の森総合体育館		
既存諸室機能	備考	半屋外対応可能性
第1体育室	観客席928席	
第2体育室	観客席158席	
トレーニング室	ウエイトトレーニング機器他	
第1武道場	柔道他（試合場2面）	
第2武道場	剣道他（試合場2面）	
弓道場	和弓(10人立)、洋弓(5的)	半屋外対応の検討が可能
エアライフル場	エア、ランニングポア、ビーム	半屋外対応の検討が可能
相撲場	土俵2面	半屋外対応の検討が可能
卓球室	卓球台8台	
ミーティングルーム	仕切り壁あり	
幼児体育室	幼児の自由遊び	
レクリエーションホール	ヨガ、ダンス等	
会議室	第1、第2	
研修室		
管理事務室		
(新) 多目的グラウンド	総合的な市民スポーツの拠点のため	屋外対応



屋外の他、最上階のフロアを活用して床面積を抑える施設計画の工夫も想定されます  
(福岡市総合体育館)

出所：施設HP

# 評価指標C | マルチ対応可能性

- ・ 武道場とレクリエーションホールについては、単一機能ではなく、**多機能運動室**として集約できる可能性が挙げられます。
- ・ また、武道場は大会・試合の会場としての機能～練習用のみの機能まで、ボリュームに検討の幅があります。
- ・ ミーティングルームと会議室・研修室については、**会議室として集約**しつつ、柔軟な間仕切りの仕様等により、施設規模を抑制することができる可能性が挙げられます。

郷土の森総合体育館		
既存諸室機能	備考	マルチ対応可能性
第1体育室	観客席928席	
第2体育室	観客席158席	
トレーニング室	ウエイトトレーニング機器他	
第1武道場	柔道他（試合場2面）	多機能運動室として集約できる可能性
第2武道場	剣道他（試合場2面）	多機能運動室として集約できる可能性
弓道場	和弓(10人立)、洋弓(5的)	
エアライフル場	エア、ランニングポア、ビーム	
相撲場	土俵2面	
卓球室	卓球台8台	多機能運動室として集約できる可能性
ミーティングルーム	仕切り壁あり	会議室を集約して縮小できる可能性
幼児体育室	幼児の自由遊び	
レクリエーションホール	ヨガ、ダンス等	多機能運動室として集約できる可能性
会議室	第1、第2	会議室を集約して縮小できる可能性
研修室		会議室を集約して縮小できる可能性
管理事務室		
(新) 多目的グラウンド	総合的な市民スポーツの拠点のため	



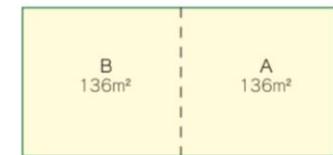
※室内は種足または靴下でのご利用となります。武道以外でのご利用も可能ですので、ご相談ください。  
 ※通常は床2面、壁2面の状態で、中央をパーテーションで仕切っています。パーテーションは全面撤去時を除き、原則として開放いたします。  
 ※放送設備は半面もしくは全面撤去時のみ利用可能です。

多機能な利用を想定した武道場  
(横浜武道館)

出所：施設HP

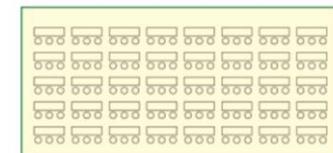


利用例1(A、Bそれぞれ独立利用の場合)



A、B共/プロジェクター・スクリーン常設  
(机、椅子がない状態でもご利用できます。)

利用例2(A+B全面利用の場合：120名)



柔軟なサイズ調整ができ、スポーツ利用を想定したフローリング仕様の  
会議室・研修室（エスフォルタアリーナ八王子）

出所：施設HP

## 評価指標D/E | 稼働率/競技人口

- 稼働率に関するデータを「府中市文化・スポーツ施設配置等適正化計画」「公共施設カルテ（R4年度版）」により抽出しました。
- エアライフル場・相撲場・ミーティングルーム、幼児体育室**については、**稼働率が低い**状況となっています。
- なお、E.競技人口については、アンケート調査で収集される想定です。

郷土の森総合体育館						D.指標の分析
既存諸室機能	備考	稼働率 (H29～R元)	団体利用率	自主事業 利用者数	一般公開時 利用者数	
第1体育室	1,512㎡、「みる」スポーツ付加	79.9%	60.4%	2,464人	10,528人	稼働率は高い
第2体育室	971㎡	85.8%				
トレーニング室	400㎡	-	0.0%	0人	14,341人	一般公開利用が多い
第1武道場	495㎡、柔道他	88.3%	49.9%	191人	2,142人	稼働率は高い
第2武道場	495㎡、剣道他	86.8%				
弓道場	和弓(10人立)、洋弓(5的)	74.0%	29.4%	0人	2,148人	稼働率は高い
エアライフル場	234㎡	2.4%	6.2%	0人	752人	稼働率は低い
相撲場	277㎡、土俵2面	4.2%	1.9%	66人	444人	稼働率は低い
卓球室	360㎡、卓球台8台	1.1%	0.0%	0人	10,211人	稼働率は低い、一般公開利用が多い
ミーティングルーム	48㎡	1.1%	24.1%	0人	0人	稼働率は低い
幼児体育室	100㎡、幼児の自由遊び	0.4%	0.9%	57人	820人	稼働率は低い
レクリエーションホール	377㎡	75.7%	31.3%	7,663人	527人	稼働率は高い
会議室	第1=56㎡、第2=57㎡	-	10.8%	0人	0人	
研修室	56㎡	-	-	-	-	
管理事務室		-	-	-	-	